

会 議 録

会 議 名	平成 30 年度第 2 回八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 計画策定部会	
日 時	平成 30 年 7 月 23 日 (月) 午前 9 時 30 分～10 時 15 分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 805 会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁部会長、大宝院清孝副部会長、荒井容子委員、岡崎理香委員、野中真理子委員、三浦佐知子委員、山本由佳理委員（部会長、副部会長、以下五十音順）
	関連所管	中野目南大沢保健福祉センター館長
	事務局	澤田子どものしあわせ課長、小俣保育幼稚園課長、福田子育て支援課長、小池児童青少年課長、後藤主査、小島主査
欠 席 委 員		
議 題	議題 (1) 第 4 次子ども育成計画策定に係るアンケート調査について	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	0 名	
配 付 資 料 名	別紙のとおり	
会 議 の 内 容	別紙のとおり	
会 議 録 署 名 人	平成 30 年 8 月 21 日 野 中 真 理 子	

配付資料

- 調査票の構成について
- 保護者用調査票たたき台
- 児童・生徒用調査表たたき台
- 指針等により示されている計画の記載事項

【澤田子どものしあわせ課長】

これより平成 30 年度第 2 回社会福祉審議会児童福祉専門分科会計画策定部会を開催します。本日の議題は第 4 次子ども育成計画策定に係るアンケート調査についてです。調査票の内容について、委員の皆さまから意見をいただきたいと考えております。これ以降の進行については、井上部会長にお願いします。

【井上部会長】

まず、配付資料の説明をお願いします。

【澤田子どものしあわせ課長】（資料 1～4 を説明）

調査項目については、現在、子ども家庭部各課で検討を進めているところです。委員の皆さまの視点から調査項目や言葉の使い方など、ご意見をよろしくお願いします。

【井上部会長】

それでは資料 2 未就学児童の保護者用調査票から検討を始めます。

問 10「日ごろ、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか」とありますが、ここでは家族形態を聞く内容にしてはいかがでしょうか。父母だけの核家族なのか、祖父母も含めた拡大家族なのかを聞いて、分析していくと良いと思います。

共稼ぎ率が 70%を超えたという報道もあります。問 12 で父母の就労状況を聞き、八王子市ではどうなのか、比較・分析が必要でしょうね。正規か非正規かでもニーズが変わってきます。出産・育児で就労形態は変わったか。

問 33「子育てに関して悩んでいることはありますか」とありますが、その悩みをどこに、誰に相談したかという設問が必要です。親族に相談しているのか、公的機関に相談しているのかを聞き取り、地域別で分析することでニーズが見えてくるでしょう。

問 1～10 の個人の属性を聞く項目は、複雑にならないよう工夫が必要ですね。表形式になるとわかりやすく、回答し易いかもかもしれません。

正規職員でも無期雇用と有期雇用がありますので、雇用形態を聞く設問と勤務時間を聞く項目が必要ですね。国勢調査の設問が参考になるとと思いますので、確認しておいてください。

【山本委員】

選択肢にかっこが多く読みづらい印象を受けます。枠外に一括で記載したほうが読みやすい気がします。

【澤田子どものしあわせ課長】

そのあたりは工夫していきたいと思います。

【井上部会長】

問 13 と 14 は合体するか、問 12 も含めて就労状況全体を表形式にすると答え易いかもしれませんね。

問 15-1 の選択肢にひろばと児童館、放課後デイサービスを加えてはどうでしょうか。放課後デイサービスのニーズ調査は障害者福祉課で行っているか、確認をお願いします。こういった施設を利用しているのかを把握するため、設問の「定期的に」の文言は除いた方が良いでしょうね。子ども食堂や無料塾など地域での活動はこの設問ではなく、別の設問で聞くことにしましょう。

【山本委員】

問 15-1 の選択肢に、子育て支援を行っているサークルを加えるのはどうでしょうか。

【井上部会長】

サークル名ではなく、何をしているサークルなのか、役割で分けて加えることは可能かもしれませんが、すべては把握できないかもしれませんが、子どもを預かるサークルなのか、子育て相談のサークルなのか、親同士の情報交換のサークルなのか。類型化する必要があります。

問 34 の選択肢 6 「子ども家庭支援センターや子育てひろば」とありますが、このふたつは別の事業ですので、分けた方が良いでしょう。

今回、満足度調査は行わないのでしょうか。施設や事業の時間、設備、人員、サービスに関する調査です。今後は数だけではなく、質が求められてきます。満足度調査により、市として改善するポイントやニーズが見えてきます。

【岡崎委員】

問 15-1 の選択肢に習い事を追加してはいかがでしょう。

【井上部会長】

幼稚園では音楽教室や体操教室などを行っているところもありますので、検討しましょう。

問 26 学童保育の利用希望ですが、全小学校区に学童保育所が存在する現状において、調査する必要はありますか。

【小池児童青少年課長】

学童保育所は全小学校区にあり、地域的な偏りはあるものの、ニーズを上回る定員数を

用意できています。満足度調査は別に行っていますので、地区別の利用ニーズを把握する程度です。

【井上部会長】

地区ごとの申し込み数も別で把握しているようなので、調査結果が活用されていないのであれば、思い切って削除し、代わりに満足度調査を実施してはいかがでしょうか。

続いて、子どもを対象としたアンケート調査についてです。自分自身についてのパートには、自己肯定感のほか、将来の希望や夢、20年後に八王子に住んでいると思うかなどを入れていただきたい。

問7で相談先を聞いていますが、どんな悩みを持っているかも聞かなくてはなりません。また、相談先の選択肢は細かく設定する必要があります。学校の先生も担任、養護教諭、スクールカウンセラーなど細かく分ける。学童保育所の先生と児童館の先生も分ける。友達の類型も同性なのか、異性なのか、同級生なのか、先輩なのか分けて聞くようにしましょう。それから子どもたちの放課後の居場所について、実態と利用希望を聞く設問も入れていただきたい。

【大宝院副部会長】

問7の選択肢にインターネットで相談するを追加してはいかがでしょうか。子どもたちの中では、ゲーム機でインターネットに接続し、ハンドルネームなどを利用して匿名でやり取りしているということもあるようです。携帯やスマホを持つ前の段階から、インターネットにつながっているという現状ですので、このあたりを詳しく調査していただきたいです。

【井上部会長】

問15でインターネット上でどんなことをやり取りしているか聞いていますが、どのSNSを利用しているかも聞く必要があるでしょう。写真を送信したことがありますかなど、子どもたちの生活実態に合わせた調査をお願いします。SNSを活用した相談受付のニーズや子どもたちが使っているツールを把握することも重要です。ツールを知っておかないと子どもたちに情報を発信することができなくなってしまいます。

【岡崎委員】

子ども育成計画において、子どもたちの市政への参画ということがうたわれています。地域での活動についての設問についても、子ども委員会の設置など、広がりが出るような設問の設定をお願いします。

【井上部会長】

子どもたちのボランティア参加も含めて、反映をお願いします。他になければ、以上で本日の会議を終わります。